

みんなの参加コーナー

赤ちゃん登場!



みうらすみか
三浦純架ちゃん
平成30年2月13日生
山池町



にしかわりの
西川璃乃ちゃん
平成30年2月17日生
松坂町



かみやゆうせい
神谷悠成くん
平成30年2月20日生
井ヶ谷町



こんどうゆな
近藤由菜ちゃん
平成30年2月20日生
大正町



まえのゆうま
前野悠真くん
平成30年2月23日生
恩田町



はっとりあやね
服部綾音ちゃん
平成30年2月26日生
半城土西町



ふなばしほのか
船橋歩乃花ちゃん
平成30年2月28日生
末広町



いしかわこうゆう
石川煌陽くん
平成30年3月11日生
一ツ木町

ギャラリー



「パパと川であそんだよ」

しらいあおと
富士松南保育園 5歳児 **白井蒼翔くん**

パパと川に行ったらカニが1匹とエビが2匹いたよ。捕まえようとしたらカニだけ逃げちゃった。高い所に大きなクモの巣もあって、クモもいたんだよ。



「いろとりどりな木」

とちぶじみのり
亀城小学校 4年 **朽藤実乃里さん**

枝の分かれ目が多く面白い木を選んで描きました。光の当たり方をよく見て、光が当たっている所は薄く、影になっている所は濃くなるように色を塗りました。

こんにちは!

全国高等学校総合体育大会陸上競技(100m)出場

えんどう こうすけ
遠藤 耕介さん(刈谷北高校3年)

「インターハイには絶対に出場するつもりでした。だから、インターハイが決まった瞬間は、うれしいというよりは安心しました」と話すのは、第66回東海高等学校総合体育大会陸上競技の100mで4位入賞し、インターハイへの切符をつかんだ遠藤耕介さん。大会では10秒57という記録で自己ベストを更新しました。

小さいころから走ることが得意で、小学6年生の夏、陸上経験者のお父さんのすすめで陸上のクラブチームへ。中学1



年生から本格的に短距離を練習し始めました。強みは、練習で磨いたフォームを本番でも崩さず出せること。トップ選手の動画や写真を参考に走りを勉強しているそうです。

ずっと陸上を続けてきた遠藤さんですが、その道のりは平たんなものではありませんでした。「けがを治す治療し、またトレーニングができるようになるまで脚に痛みが。いい状態でシーズンを過ごせたことはあまりないです」と苦笑い。練習できない辛さや、ライバルに置いて行かれることへの焦りを感じることも。そんな時、いつも支えてくれたのは遠藤さんの両親。けがで通院が必要になると、仕事を早く切り上げて病院に連れて行ってくれたり、食事面に配慮してくれたりする両親に、心から感謝しているそうです。



決勝進出を目標に挑むインターハイでは、「両親を喜ばせるような結果を出したい。いつも通りの自分の走り、ベストを尽くします」とその意気込みを力強く話してくれました。

8月4日から沖縄で行われるインターハイ陸上競技。遠藤さんはそんな強い思いを持って、トラックを駆け抜けます。